令和6年度

劇場・音楽堂等機能強化推進事業 (地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業) 成果報告書

団体名	公益財団法人福井県文化振興事業団	
施設名	福井県立音楽堂(ハーモニーホールふくし	, \)
内定額	21,364	(千円)

1. 基礎データ

(1) 問館口粉,車業大粉,貸館口粉

(1) 月	開館日数・国	<u>事業本数∙貸館日数</u>			
		項	目	令和5年度	令和6年度
開館	日数			307	311
	主催事業			36	38
<u></u>	公演事	*		11	10
年間事		(内、本助成対象事業本数)		0	8
業本	人材養別			13	11
数((内、本助成対象事業本数)		0	9
* 1	普及啓	· 発事業	8	11	
		(内、本助成対象事業本数)		0	10
	その他	内容: 共催公演		4	6
	ホールごと	の貸館日数		408	424
		ホール名:大ホール	座席数: 1,456	198	210
貸館		ホール名:小ホール	座席数: 610	210	214
日 数		ホール名:記入してください	座席数: 記入してください		
		ホール名:記入してください	座席数: 記入してください		
		ホール名:記入してください	座席数: 記入してください		
*/ d	+ JL 0 77 85	と体同物でけた/ 車業末粉を記入し	-/10 hr.		

^{※1} 事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

(2) 施設利用者数・利用率

	項目	令和5年度	令和6年度
	主催事業入場者·参加者数	19,737	21,209
+/-	公演事業		21,209
施設利	人材養成事業	10.727	
用者数(普及啓発事業	19,737	
	その他 内容: 記入してください		
2	貸館事業入場者·参加者数	76,075	84,714
	その他 内容: 記入してください	40,687	49,725
	計	136,499	155,648
施設	设の利用率(%)	83.5%	88.2%

^{※2} 実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設(美術館、図書館等)のみへの入場者数は除きます。

(3) 公演事業データ

	事業種別	事業	公演	入場者・参加者数	入場者・ 参加者率			事	業本数内	訳		
	尹未性別	本数	回数			演劇	音楽	舞踊	伝統 芸能	演芸	総合 (※4)	その他
	主催公演(※1)	30	45	15,387	67.2%	1	29					
令 和 5	共催・ 提携公演(※2)	4	4	3,781	82.9%		4					
年度	貸館公演(※3)	127	135	52,755	_		123	2				2
	計	161	184	71,923								
	主催公演(※1)	26	36	14,009	75.6%	1	25					
令 和 6	共催・ 提携公演(※2)	7	8	6,184	80.3%		6					1
年度	貸館公演(※3)	136	155	60,170			134	1				1
	計	169	199	80,363								

- ※1 名義主催は除きます。※2 名義共催を含みます。※3 「貸館公演」における「入場者・参加者数」及び「入場者・参加者率」は概算で構いません。※4 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

2. 公演事業の実績記録と自己評価

- (1) 各公演事業における評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標(値)
- ・ 令和6年度助成対象事業のうち公演事業について、助成対象事業ごとに自己評価を記入してください。

事業番号	令和6年度助成対象事業のうち公事業名		易者数	入場	(対象事業ことに自己計画で 評価指標	目標(値)	 実績(値)		所見	備考
<u>一番号</u>	く世界一流の鑑賞機会:ウィーン 公演事業②>ヤメン・サーディ	目標値		者率 79.9%	公演(公演内容、曲目、出 演者)に対する満足度(来	アンケートの3段階評価で最高段階(「満足した」)と	内容90% 出演者90%	11月のウィーン・フィル公演をメインとする「ウィーン・イ ヤー291」の第2弾公演として、内容、出演者共に高い		
公-02	ヴァイオリンリサイタル ウィーンから愛をこめて 北陸新幹線福井・ 敦賀開業記念 ウィーン・イヤー 291	実績値	423	86.7%	場者アンケート) 公式LINEのフォロワー数 関連企画(オリジナル)の 参加者数	回答した人が85%以上 4/1現在(317人)から、150 人増加 15人	+33人 14人	評価を得られた。有料入場者数についても、ウィーン 関連5公演のペアチケットを別途41件・82名分販売しており、目標をクリアできた。		
د_03	<オルガン設置20周年事業①> Organ 20th Anniversary with 石	目標値	1,034	80.0%	公演(公演内容、曲目、出 演者)に対する満足度(来 場者アンケート)	アンケートの3段階評価で 最高段階(「満足した」)と 回答した人が85%以上	内容89% 出演者91%	当施設が誇るパイプオルガンの設置20周年を記念する事業のメイン公演として、人気の指揮者を招いての公演で、高い評価を得られた。助成金等を活用して		
Δ. 00	Organ 20th Anniversary with 石 丸由佳 チョン・ミョンフン指揮 東 京フィルハーモニー交響楽団	実績値	1,216	94.1%	公式LINEのフォロワー数 関連企画(オリジナル)の 参加者数	4/1現在(317人)から、150 人増加 50人	+106人 145名	シャトルバスを運行することができ、広い集客を実現で きた。		
% >−04	<オルガン設置20周年事業②> Organ 20th Anniversary with 山 本真希 ハーモニーぴくにっく ~	目標値	480	80.0%	公演(公演内容、曲目、出 演者)に対する満足度(来 場者アンケート)	アンケートの3段階評価で 最高段階(「満足した」)と 回答した人が85%以上	81%	オルガン設置記念事業として、公-03と趣を異にして幅 広い県民の方を対象に実施し、目標を大きく超える集 客があった。特に0歳児から入場を可能としたことで三		
Z 0-	本真希 ハーモニーぴくにっく ~ はじめてきたよ この場所に~	実績値	583	97.2%	公式LINEのフォロワー数 高校生未満の来場者数	4/1現在(317人)から、200 人増加 150人	+136人 246名	世代の鑑賞も見られたほか、高校生以下の入場者が 目標を100名程度上回るなど、広くオルガンの認知度 の向上が図られた。		
4 ≿−06	 <ふくい縁:優れた室内楽>堀米 ゆず子&大宅さおり デュオリサイ		366	75.0%	公演(公演内容、曲目、出演者)に対する満足度(来	アンケートの3段階評価で 最高段階(「満足した」)と 回答した人が85%以上	内容95% 出演者95%	現在福井を拠点に国内外で活躍する越のルビーアー ティストの大宅さおりのピアノと今なお世界の第一線で 活躍する堀米ゆず子のヴァイオリンというシンプルな		
	タル	実績値	394	80.7%	場者アンケート) 公式LINEのフォロワー数	4/1現在(317人)から、400人増加	+146人	デュオリサイタルであるが、安定し息の合った熟練の内容に、ほとんどの観客の満足を得ることができた。		
4 ≿-07	<世界一流のアーティスト: バラエ ティ①> ハーモニーホールふくい Birthday Special 小曽根真 featuring 中川英二郎	目標値	391	80.1%	公演(公演内容、曲目、出 演者)に対する満足度(来 場者アンケート)	アンケートの3段階評価で 最高段階(「満足した」)と 回答した人が85%以上	内容94% 出演者96%	日本が世界に誇るジャズピアニストの小曽根真を招いての公演では、目標を大きく超える集客を実現するとともに、公演後のアンケートでも高い評価を得た。実績の		
		実績値	534	97.2%	公式LINEのフォロワー数 関連企画(オリジナル)の 参加者数	4/1現在(317人)から、300 人増加 20人	+165人 46人	ある高校の吹奏楽部でのアウトリーチも併せて行い、 同校のスキルアップが図られた。		
4 ⊱-08	 <世界一流のアーティスト:バラエ ティ②>デンマークの最高峰トリ	目標値	388	79.5%	公演(公演内容、曲目、出 演者)に対する満足度(来 場者アンケート)	最高段階(「満足した」)と 回答した人が85%以上	内容97% 出演者98%	通常のクラシック音楽と違い馴染みの薄い北欧の音楽であるため、助成金等を活用したSNS広告で県外からの集客を増やしたほか、SNSでアーティストと当施設に		
	オドリーマーズ・サーカス	実績値	257	53.7%	公式LINEのフォロワー数 関連企画(オリジナル)の 参加者数	4/1現在(317人)から、350 人増加 20人	+210人 33人	関連した動画を拡散させて集客に努めた。観客からは 非常に高い評価を得られ、北欧音楽の認知度の向上 が図られた。		
公-01	(取り下げ事業)	目標値実績値								
公-05	(取り下げ事業)	目標値実績								
/		目標値								
		目標 値 実績 値								

3. 自己評価

評価項目①:創造性·企画性

評価の観点

- ・(企画力)地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。
- (制作力)優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。
- (発信力・影響力)圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。
- ・(レジデントカンパニー・アーティスト)当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。
- |・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら、事業類型ごとに自己評価を記入してください。

	評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
公演事業	対する満足度	・全公演事業の約9割で公演(公演内容、曲目、出演者)に対する満足度の目標達成	・公演内容に対する満足度 平均91% 公-2 90% 公-3 89% 公-4 81% 公-6 95% 公-7 94% 公-8 97% ・出演者に対する満足度 平均94% 公-2 90% 公-3 91% 公-4 - 公-6 95% 公-7 96% 公-8 98% ※公-4は子ども向け公演のため出演者 の満足度は聞き取りなし	公演後に行ったアンケート調査の結果をみると、公演内容については平均で91%、出演者については平均で94%の方が「満足」と答えており、高い評価が得られた。補助対象の公演も、パイプオルガンを使用したオーケストラ公演や、ヴァイオリン・ピアノの室内楽、ジャズ、北欧音楽、当施設のレジデントアーティストである越のルビーアーティストが企画した公演など多様なラインナップ総てが高い評価を得ることができた。特に公-7のジャズや公-8の北欧音楽は、当施設のメインの来場者が好むクラシックとは趣を異にするものであるが、一定の集客を得るとともに多くが90%台後半の方から「満足」との評価を得ることができている。これらのことは、これら助成対象の公演が、県内外から来ている観客の興味を引く内容で企画・広報され、なおかつ期待を裏切らない公演内容に仕上がっていることの証と考えられる。また、多様な公演それぞれを成功させるには、通常行っていることの証と考えられる。また、多様な公演それぞれを成功させるには、通常行っているPRだけでなく、公演内容に応じた効果的な広報や集客のためのバスの運行など、プラスアルファの取り組みが不可欠である。今回、助成金を活用して助成対象公演についこのようなプラスアルファの取り組みを行えたことが、成功につながったと考えている。		
人 人	・人材育成事業参加者の研修後の反応・指導者による評価	・アンケートで高評価を得る(「期待通りの成果あり」「期待以上の成果あり」の回答が80%以上) ・インタビューで概ね高評価を得る/	県のリーダー館が危機感と課題意識をもって取り組み始めたことが意義深い。充実した設備や豊富な機材で学べる機会は、本当に貴重。技術者不足は全国共通の問題であり、この事業の効果が県を越えて波及してほしい。	専門人材育成事業に対しては、目標と同じ数の応募があり、両事業で90%を超える受講者が「期待通り」または「期待以上」の成果があったと答えていることから、企画内容が参加者の興味をひくものであり、かつ有益なものであったとの評価を得たものと感じている。同時に、両研修の講師からも企画内容に対して高い評価を得ている。ただ、いずれからも、今後の参加者の広がりを目指すよう指摘されている。これも当施設が企画した研修の内容が良いものであるがゆえの指摘と前向きにとらえ、取り組んでいきたい。当施設のレジデントアーティストである越のルビーアーティストの養成事業については、単に当施設で公演を行うだけにとどまらず、県西部でアウトリーチ公演を行ったり、当施設の練習室を使って中学生に対する技術指導を行うなど、県内音楽活動の広域化や次世代演奏者の技術向上などの役割を担っている。		
		・12事業中9事業での目標参加者数を達成、総参加者7,000人・アンケート回答者の80%以上が「満足」と回答	・12事業中6事業で予定参加者・入場者を上回った。 また、総参加者は目標を上回る7660人であった。 ・アンケート回答者の85%が「満足」と回答。	普-01の乳幼児とその家族を対象とする事業は、時期的(10月の週末)なこともあり、対象者が同じイベントが多数行われており、目標の半分程度しか集客できなかった。このほか生徒数の減少などで目標・予定参加者に満たない事業もあるが、アンケートの結果は目標を上回るものであることから、時期的な検討のほか、SNSを活用するなど対象者に応じた適切なPRを行い、より多くの県民の満足を得たい。		

(2)「創造性・企画性」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

〇当施設のレジデントアーティストである越のルビーアーティストについては、本人たちの企画による公演を当施設で行っているほか、希望する中学校等に音楽に触れる機会を創出する「出張音楽堂事業」で積極的に活用するなど認知度の向上 に努めてきた。

また、従来より「越のルビー アーティストバンク」として、当事業団を介した人材派遣事業も行っており、特に今年からは県からの受託事業として、音楽がもっと身近なものとなるよう越のルビーアーティストを活用した事業への謝礼の半分を活用 奨励金として助成する事業を始めた。

- ○このような地道な取り組みを長年継続して行ってきた成果が近年現れてきている。
 - ・福井駅近くの商業施設「フクマチブロック」1階にオープンしたカフェレストランとコンサートを行うステージを兼ねた新施設「ULO」において、今年4月から同施設を管理するまちづくり福井㈱行っているマンスリーコンサートには、 これまでの3回すべてに越のルビーアーティストが出演している。
 - ・昨年末まで福井新聞社が本社に併設するホールで毎月開催していた「ちょっと素敵な音楽会」では、休止する前はほとんどの回に越のルビーアーティストが出演していた。

評価項目②:国際性(任意)

評価の観点

- ・(国際プレゼンスの向上)海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。
- (国際交流)アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。
- ・(新たな創客への取組)在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。
- ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
・海外アーティスト・カンパニーの招聘公演数	-7本(前年度4本)	5/1 ジェイコブ・コーラー・ピアノライブ 5/30 ウィーン少年合唱団 6/28 ヤメン・サーディ ヴァイオリン リサイタル 10/20 ドリーマーズ・サーカス 11/10 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽 団	海外アーティスト・カンパニーを招聘した公演は、左記のとおり目標通りの7公演を実施した。 5月1日の公演では、海外から招へいしたプロのアーティストと本県ゆかりの若手アーティストが共演する機会を作るもので、能力の向上と国際交流が図られた。 5月30日の公演は、本県でも根強いファンを有する公演であり、9割を超える観客の満足を得、11月のウィーンフィル公演を中心とする「ウィーン・イヤー291」のオープニングを飾るにふさわしいものとなった。 6月28日の公演では、当施設での公演に加え県内高等学校でのアウトリーチも行っており、一流の音楽に触れる機会を創出したほか、人的な交流が図られた。 10月20日の公演では、公演前に関連企画としてメンバーと音楽プロデューサーによるレクチャーの場を設け、デンマークにゆかりの方の呼び込みや国際交流を図った。 11月10日の公演は開館以来27年ぶりの公演で、本公演のほか青少年プログラムとして企業協賛を得た青少年向けの割引されたチケットの販売や学生の希望者によるゲネブロの無料鑑賞、レセブションの開催など、人的な交流や世界的にも超一流の音楽に触れる場の創出等を行った。 12月7日の公演では、希望者を対象としたトーク&ミニライブや、ホワイエにおけるクリスマスマーケットの開催など、北欧の文化に触れる機会を創出した。 12月13日の公演は本県の嶺南地方にある美浜町のホールを会場に、「ウィーン・フィル」「ベルリン・フィル」のメンバーで編成されるアンサンブルの公演で、普段触れることの難しい国際的にもトップレベルの音楽に触れる機会を創出した。		

(2) 「国際性」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

- 〇開館以来27年ぶりにウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の公演が11月10日に行われるため、関連5公演をまとめるなどして「ウィーン・イヤー291」と銘打ち、大きくPRした。 5/30 ウィーン少年合唱団 6/28 ヤメン・サーディ ヴァイオリンリサイタル 10/24 第33回ハーモニーブンカさろん「音楽の都」ウィーンの秘密を探る(小宮正安氏のお話と越のルビーアーティストによる歌とピアノ) 11/10 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 12/13 フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン
- 〇ウィーン・フィル公演に先立ち(10/2~/8の7日間)福井市内の百貨店で「ウィーンの伝統菓子フェア in 西武福井店」を行ったところ、参加店の予想を大きく上回る売り上げがあり、公演に向けた雰囲気づくりの一助となった。 菓子フェアの成功は、当初予定のなかった公演日(11/10)の当施設大ホールホワイエでのお菓子販売につながり、観客からも好評であった。
- 〇ウィーン・フィル公演後福井市内のホテルにおいて歓迎レセプションを開催したところ、公演後東京に移動する前というタイミングであったが半数を超える団員の参加を得ることができ、大いに交流が図られた。 会場には食を中心とする福井県の物産が用意されたが、団員が個人のSNSなどで紹介するなど、インバウンドに弱い本県のPRの一助となった。
- 〇本県の越前市において、毎年「武生国際音楽祭」が開催されているが、今年は7日間の会期中各日に開催されるメインコンサートのひとつがウィーン関係であるなど、昨年の「ウィーン・イヤー291」を意識したものとなっている。

評価項目③:地域文化拠点機能

評価の観点

- ・(文化拠点)地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・(地域連携)地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・(児童生徒への機会提供)を持ちませる子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。

- ・ホール利用サービス(貸館事業)の向上 ※
- ・自由設定の観点(任意)
- ※ ホール利用サービス(貸館事業)を行っていない場合は不要

評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評定	所見	対応・追加情報など
児童・生徒数、割合)	・全ての事業で目標定員を上回る参加者を得る・小学校20校(生徒1,000名)、中学校10校(生徒2,500名)・レジデントアーティスト活用事業鑑賞者の満足度(8割が満足と回答)・スタッフの応対等の貸館利用者の評価「大変良い・良い」が8割以上	ができなかった ・小学校2校(208人)、中学校9校 (1607人)、特別支援学校6校(44 7人)など、計2906人の参加を得た ・アンケート回答者の86%が「満足」 と回答	子どもを対象とする事業の場合、文化や芸術に限らず、福祉や学習など多くの分野で様々なイベントが行われているため、事前の日程調整ができない。このため、まずは選ばれる事業を企画し、効果的なPRを行うことが必要		

(2) 「地域文化拠点機能」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

〇当館の取り組みとして、いわゆる「O歳からのコンサート」として乳幼児から音楽ホールでの音楽鑑賞を体験してもらったり、本物の楽器に触れ・鳴らす経験をしてもらったりする場を設けている。幼少期のお子さんを持つ親御さんからは非常に好評で、県内の他の施設にも波及している。

- ・ハートピア春江(坂井市) R7.9.23「聴いて、観て、動いて楽しむ! O歳からのクラシックコンサート」(ハートピア春江自主事業)
- ・みくに未来ホール(坂井市) R8.1.25「O歳からのクラシックコンサート」(みくに未来ホールの自主事業)・パレア若狭(若狭町) R6.5.25「O歳からのはじめてのオーケストラ」(パレア若狭の自主事業)

評価項目④:多様性とアクセシビリティ

評価の観点

- ・(プログラムの多様さ)プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。
- ・(参画者の多様さ)アーティストやスタッフとして参画する人々の属性(性別、年代、居住地、他)が多様である。
- ・(アクセシビリティ) 障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。 ・自由設定の観点(任意)

「日田設定の観点(任息)

(1) 令和6年度の自己評価

・ 評価補助シートで設定した評価指揮と日標(値) 及び その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
若年層利用者数(学生券の販売数) ・主に公演事業の核となるアーティストの男女比率 ・アウトリーチ事業の実施数 ・インクルーシブ事業に参加した県民数 ・インクルーシブ事業に参加しての満足度 ・遠隔地(奥越地区、坂井地区、嶺南地域) からの来場をサポートするバス運行公演数 及び利用者数	 「6:4」とする(前年度7:3) ・圏域内20箇所以上 ・計200人 ・アンケート回答者の80%以上が「大変よかった」、「よかった」と回答 	・計1,438人 ・「57:43」 ・アウトリーチ公演 5公演、506人 出張音楽堂事業 14校、2016人 ・202人 ・100% (「大変良かった」33人「良かった」9人) ・5公演(計169人)	身体障がいの有無のみならず、性別や国籍、言語、志向の差異を受容しあうことが重要であると考えている。「発表したい気持ち」を尊重したホール開放デーでは、広く県民にホールを開放することにより多様な利用を進めるとともに、県民のための県立音楽堂であることの認知度を上げている。また、公演事業に出演するアーティストの男女比についても、従来の男性優位な状況から、少しずつではあるが男女数を近づけている。障がいのある方を対象には、こどもホスピスや特別支援学校の子どもたちに当施設での音楽を体験してもらうため、サポートする側にも県民の参加を得て、パイブオルガンを使用した公演を行い、好評価を得ている。さらに、地方においては公共交通機関が乏しい現実に鑑み、一部の公演では遠隔地の住民を対象とするシャトルバスを運行し利用されている。		

(2)「多様性とアクセシビリティ」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

| 障がいのある方を招いてインクルーシブ公演を行うに当たり、以下のとおり様々な配慮、検討を行った。効果があったもの、少なかったものすべて含み、当施設の能力向上につながった。

- ○参加できる対象者を限定、公演曜日の設定
 - 6/7公演は平日開催、11/4公演は休日開催とし、団体(学校)でも個人でも参加できるように設定した
 - 午前・午後で対象者を絞った(ex.午前/病気とたたかう子ども家族 午後/障がいのある方と家族)
 - 途中入退場OK、動き回ってもOK、声を出してもOKとし、それぞれ自分のペースでゆったり過ごせるようにした
 - 客席照明を通常より明るくした
- ○ケアルームの設置

吸引、おむつ替えなどの必要なケアをゆっくりできるよう、楽屋を使って複数のケアルームを設置し、いつでも出入り自由にしたところ、喜ばれた

- ○均っこスピーカー
 - 体感振動スピーカーを用意し、聴覚障がい者などに提供したところ、演奏を振動で伝えられた
- ○ゆとりあるスケジュール
 - ーコンサート時間は40分程度、終演後の楽器体験やオルガン探検ツアーでは終了時刻を定めることなく行った
- ONPO法人ふくいこどもホスピスの協力を得て、対応等のノウハウをご教示いただくとともに、重い病気とたたかう子どもとその家族への公演案内を直接的に行えた
- 〇11/4公演では、「みんなで舞台に立とう」を広げる会の協力を得て、アテンドスタッフとしての6人の方に参加いただき、インクルーシブ事業の経験が浅い当施設スタッフにとって学びの場にもなった。
- ○看護師を福井大学医学部から派遣していただき、万が一の事態にも備えることができ、安心して事業運営に臨めた。

評価項目⑤:自由設定(任意)

①創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性 の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。

評価の観点	

(1) 令和6年度の自己評価

評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など

評価項目⑥:運営体制と持続可能性

評価の観点	現状	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
「実現性」の評価項目より						
(ア) (多様な財源の確保)予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。						
(イ) (広報・営業力)広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。						
(ウ) (他館連携)他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。						
(設置者)円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通 (エ)を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待でき る。						
「持続可能性に関するチェックシート」より						
(芸術監督)芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。						
(長期的経営)長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営 実務者が配置されている。						
(専門人材の確保)今日的な劇場運営に必要な職能や専門性 (キ)を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確 保や育成に努めている。						
(職制の整理)芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その (ク) 他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性 を基に整理され、役割分担されている。						
(世代間バランス)年齢バランスを考慮した人材確保を行っている(若年層の雇用に努めている)。						
(ジェンダーバランス)女性管理職比率が30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。						
(ワークライフ・バランス)仕事と育児・介護等の両立支援制度を整備し、推進している。						
(コンプライアンス順守)情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。						
(ハラスメント防止対策)職場内及び創作現場におけるパワー・ (ス) ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等防止のための指針 等を策定・周知し、必要な研修を行っている。						
(セ) (適正な契約事務)アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。						

4. 総評

- 団体の自己評価

《事業団事業に対する評価》

助成対象の事業を含め、当事業団が行う事業に対しては、公演時や事業実施時に行うアンケートにより概ね高い評価を得ている。一方で、同アンケートを通じて様々な意見が寄せられており、これらを真摯に受け止めて対応を図り、より高い満足を得られるよう取り組んでいきたい。

《新たな顧客獲得のための情報発信》

コロナ禍で大きく落ち込んだ自主公演や貸館公演等の観客数や練習室の利用者数もコロナ禍以前の水準に戻りつつある中、子ども対象事業の親世代など若い世代の顧客を獲得するため、LINE等のSNSを活用した情報発信やネットでのチケット販売の推進などを開始し、定着してきている。常に情報発信の効果を図り、適切な時期に、必要な内容の情報を発信していきたい。

《インクルーシブな音楽堂を目指して》

県内唯一の音楽専門ホールとして、利用者の属性や状況を問わないインクルーシブな音楽堂を目指してサービスの向上を図りつつ、これまでと同様に多様で良質な音楽を提供することに努め、さらには貸館利用者や練習室の利用者にはより上質なサービスを提供を目指していきたい。

• 所見

